

平成 29 年度カリキュラム概要

和歌山県立医科大学は、医師及び医学研究者としての幅広い教養、柔軟な思考力と創造性、豊かな人間性、高邁な倫理観を涵養し、基礎および臨床医学における高度で専門的かつ総合的な能力を修得させ、良好な患者 - 医師関係を築くためのコミュニケーション能力とリーダーシップを備えた協調性の高い人材及び地域医療・健康福祉の向上に寄与するとともに国際的にも活躍できる人材を育成することを教育理念としています。平成 28 年 1 月に医学部分野別認証を受審し、学修成果基盤型教育に移行し、ディプロマポリシーと整合性をとった形で、卒業時コンピテンスおよび下位の目標であるコンピテンシーを作成し、平成 28 年度のカリキュラムに反映いたしました。今後、カリキュラムがコンピテンシーと整合性をもっているか、マイルストーンの修正が必要ないかなどの点については、継続的に検討を行っていく予定です。

本年度も、カリキュラム移行途中であり、特に臨床実習の内容が大きく変わりました。分野別認証で指摘された大きな点は、2 週間の臨床実習では真に診療参加型になっていないのではとの点でした。今回は、モデル・コアカリキュラムにおいて長期間の実習が望ましいとされている診療科を中心に 4 週間の実習とし、関連する 2 科を同時に回することで、4 週間同一患者をみるができるようにしました。また、期間中の実習内容などについても再検討を行っていただきました。

学生が低学年から患者と触れ合う実習は、分野別認証でも強く求められたものであり、2 年次から 4 年次においても従来の地域での臨床体験実習に加え患者に触れ合うことが出来るようなカリキュラムを継続していきます。海外留学については提携校が増えており、留学の機会が増えていますが、希望者が少ない現状にあります。今後、基礎配属や臨床実習の期間に出来るだけ留学の機会を増やしていきたいと思っております。医学教育は 6 年間で修了するものではなく、生涯を通じて、自己研鑽を行える能力を在学中に身につけることが必要です。できるだけ、このような機会を利用し自分自身で学ぶ習慣を身につけてもらいたいと思います。

教育要項は、教育の理念・方針を示すものです。新学期にあたり、教育要項を熟読し、内容を周知することを望みます。また、将来の医学領域の国際化を踏まえ、早期から語学能力を高める努力を行い、TOEFL を受験するなど留学の準備を行ってください。医学部教育は、より成人型教育、能動教育に移行しております。自ら積極的に学ぶ者には、修学の機会は増えますが、そうでない学生は修学の機会を失うことになり、学生間の能力の差が広がることとなります。1 年次に高校時代の受け身の学習態度を改め、積極的に自ら学ぶ態度を身につけてください。医学の世界は、医学教育、専門医制度、医療制度など多くの変革の時期を迎えています。個々人がしっかりと自分の目標を定め、その目標に向かって進むよう心掛けてください。